

# 「葉山港 新港ポンツーンの破損・他」 神奈川県横須賀土木事務所との協議議事録

20140121

npo 葉山ヨットクラブ 泊地委員長 真野

「葉山港新港ポンツーンの破損及び港湾施設の維持・管理・補修・改善について」という議題で、神奈川県横須賀土木事務所河川砂防課の担当者と協議した。

日時 : 平成26年1月21日(火) 10:00~11:30  
場所 : 葉山港管理事務所 2A会議室  
出席者: 神奈川県横須賀土木事務所河川砂防課 : 藤崎課長、南條技師  
npo 葉山ヨットクラブ : 武田理事長、森谷理事、真野理事  
指定管理者 (株)リビエラリゾート : 佐野ハバ-マスター

当方で用意した以下の資料を提出した。

資料-1「葉山港新港ポンツーンの破損及び港湾施設の維持・管理・補修・改善について」

資料-2「葉山港新港ポンツーンの破損について」 . . . . . 別添ファイル

## 議 事

### 1. ポンツーンの破損及び港湾施設の維持・管理・補修・改善について

資料-1「葉山港新港ポンツーンの破損及び港湾施設の維持・管理・補修・改善について」のうち

1. ポンツーン破損の原因究明の要望
2. 補修又は更新の要望
3. 新港南側ポンツーンの不具合の改善の要望

について、資料2を基に、神奈川県の今後の対応について説明を受けた。

破損個所を早急に修理する為、破損したポンツーンのメーカー（ゼニヤ海洋サービス株式会社）に補修費用の見積もり依頼中。

破損は明らかに腐食によると考えられる。整備当初、ポンツーンの耐用年数は20年とされていたようであるが、現在、メーカー側は「10年程度での補修や交換の必要性がある」という説明をしている。

今年度中（H25年度）2014.3までに新港側ポンツーンを中心として腐食の調査を実施予定。

来年度（H.26年度）以降（2014.4～）新港側のポンツーンのリニューアルの事業を計画している。優先順位として、新港側のR側、L側2本の主棧橋のポンツーンの交換を考えている。来年度の県の予算配分、さらに の調査結果にもよ

るが、新港側のポンツーンについては、2～3年程度の期間でリニューアルを実施したいと考えている。

リニューアル後のポンツーンは、本港で設置した形式と同様になると考えられる。(アルミフレーム(SUS材)FRP床板)現在、新港のポンツーンの床板に用いられているハードウッドの製品は無いとの事。

新港のポンツーンリニューアルに伴い、R側、L側のポンツーンは同形式を採用する予定。

資料-2「葉山港新港ポンツーンの破損について」中の「3.今後の対応要望」で指摘した項目については、神奈川県もほとんど同様な認識を持っている。施設の維持管理については、H.21年度に機能保全調査を実施し「葉山港施設の維持管理計画」を立案し、その計画に基づきH.22年度から補修事業を実施している。係留杭のライニングの塗装による補修も一度実施したが、クッションローラーの補修が同時に実施されなかった為に、直ぐにライニング塗装は剥がれた事も認識している。機能保全事業による保全計画は5年に一度に見直しする事となっているので、来年度(H.26.4～)に計画が見直され、新たな「葉山港施設の維持管理計画」を立案する事となっている。ポンツーンのリニューアル及び新たな計画の中で、今回のHYCからの資料も踏まえ、県として対応していきたい。非常時用の梯子について、ポンツーンのリニューアルと合わせ増設及び新設を検討する。

## 2. ポンツーンの不具合による責任と保証について

神奈川県としては今後、同様な事故が発生しないよう改善対策事業を早急に予算化し、直ちに実施することにより、利用者への被害を無くす様、事業を推し進めていく。

## 3. 未利用の新設ポート用上下架施設、及び隣接施設について

資料-2「葉山港新港ポンツーンの破損について」中の「葉山港ポート上下架施設の状況について」で指摘してされている部分について、県は同様な認識である。

特に上下架施設南北両側の護岸は前面浚渫により、既設の構造物が不安定となり危険な状況。現在、応急処置として上部コンクリートをH鋼で舗装コンクリートと連結している。

施設の所有者であり事業の発注者である県の監督責任はある。しかし、ここに至った経緯・責任は、関係者が多く特定する事が出来ない。以下の順序で県の事業として対応を計画している。

今年度の事業により、本港側の上下架施設要ポンツーンの整備事業と合わせ南側の護岸の改良事業実施予定。事業内容は、「4.その他」参照。

上下架の船台の、不具合は、レールの嵩上げと調整で対処予定。スケジュールは未定

北側の護岸改良について、具体的な方法と時期は未定

従って、ポート上下架施設改良の予定は立っていないこととなるが、H.26 年度中には、供用を開始したいとの事。

#### 4. その他

神奈川県横須賀土木事務所河川砂防課より、今年度以降、下記の2点についての説明があった。

##### 今年度の事業（本港のポンツーンの新設と既存護岸の改良）

（資料-3；「H25 年度事業平面図」県提示図面資料）

今年度の事業により、本港側の上下架施設用ポンツーンの新設事業と合わせ南側の護岸（第2西船揚場擁壁）の改良工事事業の入札終了。落札業者は決定しているが1/21現在、正式契約には至っていない。事業工期はH26.3であるが、現実的には繰り越しされる。工事の完了は早くても今年の中旬以降になる見込み。

##### パワーポストの設置について

- \* パワーポストをポンツーン上に設置する予定。
- \* 計画数量は1基/4隻として、本港；5基、新港：11基を計画している。
- \* 利用方法は、専用コードを利用者に有料で貸出。（江の島、真鶴と同方式）
- \* パワーポストの設置による係留料金の値上げは無い。
- \* H Y C からパワ - ポストの設置までの間は、ロングコードでの電気の利用の可能性について要望した。

以上  
文責 真野

**葉山港新港ポンツーンの破損及び港湾施設の  
維持・管理・補修・改善について**

20140121 npo 葉山ヨットクラブ

- 1 . **ポンツーン破損の原因究明の要望**
- 2 . **補修又は更新の要望**
- 3 . **新港南側ポンツーンの不具合の改善の要望**

以上、1～3については、早急な対応を要望します。神奈川県としての方針を早急に提示して戴き、具体的なスケジュールを提示して戴きたい。

- 4 . **今後同様な事故が起こった場合の管理者としての責任と保証の明確化**
- 5 . **ポンツーンの破損による人身事故が発生した場合の責任と保証の明確化**

4 , 5 については県の方針を示して戴きたい。

- 6 . **未利用の新設ポート用上下架施設、及び隣接施設について**  
県の見解と対応策、今後のスケジュールを説明願いたい。

# 全体平面図

資料-3 ; 「H25年度事業平面図」県提示図面資料

